



新型コロナウイルスへの対策もしっかり！ 山形県産さくらんぼのトップセールスが開催

山形県産さくらんぼトップセールス

- 期日：6月16日(火)
- 場所：大田市場
- 主催：山形県、JA全農山形
- 内容：ビデオメッセージの上映とサンプルの展示（試食提供はなし）

■ 新型コロナによる自粛後初の市場PRが開催！

新型コロナウイルスの感染拡大により4月7日に緊急事態宣言が出されて以降、市場や量販店では産地による販促活動の休止が続いていました。5月25日に宣言が解除されてからも販促活動の自粛傾向が続くなかで、大田市場では他県に先駆けて、山形県がこれから出荷最盛期を迎える「さくらんぼ」のトップセールスを実施しました。

トップセールスでは、県を超えての移動が自粛されていることもあり、山形県の吉村知事とJA全農山形の長澤会長は来場せず、ビデオメッセージによる挨拶となりました。ビデオメッセージの上映の他にはサンプルの展示が行われたのみで、関係者によるマイクパフォーマンスや試食の提供、リーフレット等の販促資材の積極的な配布といった宣伝は行われませんでした。

また、新型コロナウイルス対策として展示サンプルはラップで保護されていたほか、開始前の呼びかけも行われず、来場者も間隔をとって密集しないようにするなど、ソーシャルディスタンスに配慮しながらの開催となっていました。

上映されたビデオメッセージでは、吉村知事からは「これからさくらんぼを始めメロンやブドウ、ラ・フランスなどの出荷が始まるので、よろしくお願ひしたい」とのメッセージが伝えられ、JA全農山形の長澤会長からは、「新型コロナウイルスの影響で消費が鈍り不安を感じている生産者もいるが、これからはしっかりと良い物を皆様に届けていきたい」と産地としての意気込みが伝えられました。

今年の出荷量については、不作であった昨年を上回り、平年並みを見込むとのこと。



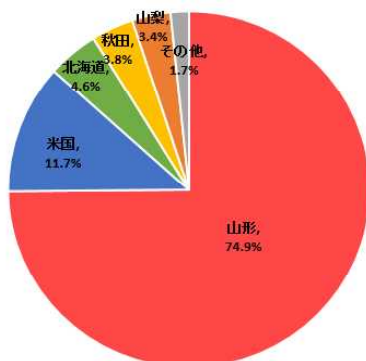
吉村知事によるビデオメッセージ



来場者も間隔をあけて見学



展示したサンプルはラップで保護



都中央における「さくらんぼ」
入荷量上位5産地

